

議 事 録

- 1 会 議 名 第3回さぬき市学校再編計画検討委員会
- 2 日 時 平成24年11月27日(火) 13時30分～15時45分
- 3 場 所 さぬき市津田支所2F第5・第6会議室
- 4 出席者 **【委員】** 毛利委員 平野委員 大眉委員 渚 委員 名和委員
大山委員 山下委員 三井委員 野崎委員 寒川委員
土佐委員 山本委員 三木委員 本間委員
【事務局】 安藤教育長 六車教育部長 穴吹教育総務課長
牟礼学校教育課長 学校再編対策室 津田室長 真部副主幹
山田副主幹
【傍聴】 0名
- 5 会議次第
 - 1 開会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 前回の会議結果
 - 4 議事
 - (1) 通学区域の指定変更状況等について
 - (2) 香川型指導体制について
 - (3) 特別教室の利用について
 - (4) 学校規模によるメリット・デメリットについて
 - (5) 学校再編計画後期計画期間の計画内容(中学校)の見直しに係る再編案の取りまとめについて
 - (6) 学校再編計画後期計画期間の計画内容に係る幼稚園・小学校の計画内容について
 - 5 次回の日程について
 - 6 閉会

6 会議内容

発言者	意見概要
(開会)	～～～13：30 開会～～～
(事務局)	さぬき市学校再編計画検討委員会毛利委員長から挨拶をお願いする。なおここからの進行については、さぬき市学校再編検討委員会設置要綱第6条第1項の規定により毛利委員長をお願いする。
(委員長)	(委員長あいさつ)
(委員長)	議事に入る前に、会議の公開、非公開についてお諮りしたいと思う。さぬき市学校再編検討委員会設置要綱の第6条3項の規定に基づき原則公開となっている。特に非公開とする事項がない限り、公開ということを進めたいが異議はあるか。 公開としてよいか。
(委員)	異議なし
(委員長)	本日の会議は公開とする。次に本日の会議の傍聴人について事務局から報告を求める。
(事務局)	本日の傍聴規模者は無しである。
(委員長)	もし途中で傍聴される方がいたしたら傍聴を許可することもある。認めてもよいか。
(委員)	異議なし
(委員長)	途中からの傍聴があれば許可する。 前回の第2回の検討委員会の結果につきまして事務局より報告を求める。
(事務局)	(事務局報告)
(委員長)	ただ今、事務局の方から、前回の検討委員会の議事内容について報告をいただいた。これについて何か質問等あるか。

(委員)	質疑なし
(委員長)	<p>特に質疑等なければ、議事内容について承認をいただいたものとする。それでは、今日の議事に入る。</p> <p>議題の(1)～(6)までであるが、(5)学校再編計画後期計画期間の計画内容(中学校)の見直しに係る再編案について、時間を取りたいと思うので、(1)～(4)までは、前回出たいろいろな提示を求められたものについての資料報告になると思うので、これについては一括して事務局から説明いただきたい。</p>
(事務局)	(事務局から(1)から(4)の議題を一括説明)
(委員長)	それでは、事務局の方から前回求められた資料提示に基づいての説明であったと思う。何か皆さんの方から質疑等あるか。
(委員長)	特に地域等もかかわって通学区域の指定変更の現状がどうなっているのかの確認は大事なのかなと思うが、どうか。
(委員)	さぬき市内の指定変更の条件・理由については、お調べいただいているが、県立中学校の変更理由というのは予測がつくが、いきさつは。北中学校は、高校受験がないからというのが第1だと思うが。そこらあたりはどうか。
(事務局)	特に調査はしていない。
(委員)	そのように考えてよろしいか。そういうことだろうとさせてもらってよろしいか。
(事務局)	実際の理由というのはわからない。
(委員長)	こういう形で出ているが一人ひとり何を理由にとすることは、踏み込んで…中学校の校長さんの方から。
(委員)	小学校段階の受験なので・・・。
(委員長)	やっぱり北中に行っている子というのは、津田中学校や志度東中

<p>(委員)</p>	<p>学校に進学した場合はクラスのリーダー的存在になるのが、残念だなあと思うのか。受け止める方からはどうなのか。</p> <p>実際に生徒と会う機会がないもので。</p>
<p>(委員)</p>	<p>3学年で約100名の子がさぬき市内から市外へ出ていくわけである。子ども達が減るから学校再編を考えなければならない。例えばその子どもたちがもし、留まるようなことができるのであれば、少しでも学校再編のスピードを遅らす必要があるのかもしれないが、その貴重な子どもたちが市外に出ていくということは、我々側としても非常に惜しい。中学校としても中学校の現場の先生方に聞けば、北中学校に行くのは、確かに高校に上がるのは無条件で上がれるかもしれないが、普通に市内の中学校で勉強してくれれば、いろいろな希望・可能性が広がるということ、保護者の方に説明なり、求められれば先生方は（説明に）行くとおっしゃっていただいたことがある。小学校の現場に中学校の先生が保護者に〇〇中学校に来てくれば子どもたちの可能性はこんなにある。北中学校に行けば確かに、高校に上がるのはエスカレーターでいいのかもしれないが、子どもたちの可能性を縮めるようなこともあるから、できれば普通科からいろいろな専門的な高校まで、ましては県下に広がるたくさんの高校に進路というのは広がるということ、説明していただければもっと100名近くの子どもの子どもたちが半分になるかもしれない。ぜひ教育委員会としても、できれば小学校に現場の中学校の先生が説明に伺う機会があればどうなのかなという思いがあったので、子どもたちがどういう理由で（北中学校）に行っているのかというのをしっかりと押さえてもらえれば、そういう（市外へ出ていく）ところの対策ができるのではと思う。</p>
<p>(委員)</p>	<p>小学校の段階で北中学校の受験をするので、私が長尾小学校で、聞いた範囲では、ケースバイケースで、一人ひとり志望動機は違うかもしれないが、北中学校場合については、中高一貫教育の6年制の教育方針が最初に挙げられる理由として大きいと思う。それから部活に関しても北中学校、北高校の方にこれから取り組みたい部活があるからという理由で行ったお子さんもいらっしゃる。北中学校以外の高校・中学校へ進学するというのも何名か転出されているが、それについても部活動の指導者がいる中学校の方へ転出されるお子</p>

	<p>さんもいらっしゃる。</p>
(委員長)	<p>教育長の方から何かあるか。</p>
(教育長)	<p>先程、委員の方がおっしゃったように、小中の連携を取ることに よって、非常に有効的である。北中ができた発足した当時は、小中 連携を行っていなかった。近年には、小中連携ということで、中学 校の教員が来たり、小学校から行ったり、体験入学したりと中学校 の良さ等を考えるようになってきている。しかし、最終的には、個々の 児童の心の問題であるし、その児童がいる家庭の考え方等の意志・ 意見にもよるので、強く要請することはできない。というのが現状 である。中学校から高校へ行く時も保護者、家庭、本人の意思に基 づいて選択するのと同じように、やはり今広く選択肢があるので、 小学校から中学校に行くことについても、家庭・本人の考え方に大 きく依存する。委員のおっしゃるとおり、いてくれたらもっと伸び たのと思う子ども中には、いるとは思いますが、そこまでは踏み込んで 言うことはできないのが現状である。以上である。</p>
(委員長)	<p>検討委員会が開かれて、学校再編について私たちは議論している が、1つ目には少子化になかなか歯止めがかからない。もう1つは 生徒が他の、市内の中学校を変更して出ていく。いろいろな形での 歯止めが打てる部分もあろうかと思うのだが、このような状況にな っている。県立の中学校の変更については、一貫校という教育方針 もあるし、部活動の魅力等あると思うし、それぞれのご家庭、本人 の考え方もあるが、やはり地元の小学校、中学校へのしっかりと した信頼を作っていただいて、なるべく通っていただくことがさぬ 市の学校関係者にとっての願いだと思う。いかがでしょうか。</p>
(委員)	<p>難しいと思う。早い子は5年生の時から塾に通っていらっしゃる らしいから。進学間際になってやめたらというのは、教育委員会さ んが言うと強制したようになってしまう。難しい問題かと思う。</p>
(委員長)	<p>強制はできないかと思うが、地元の良さをご理解いただく、アピ ールしていくことは必要である。その中に、例えば中学校から小学 校に早めに地元の中学校の特色、強み等を説明する機会も設けては どうかというご提案もあったかと思う。</p>

<p>(委員)</p>	<p>親は中学校の事はあまり考えていない、先のことを考えている。大学へ入学ということ。頭においているのはクラブ活動命という発想だからとてもではないけれど難しい。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>大都市圏で進学に強い私立中学校・高校があるところと、このような地方とではずいぶん事情が違ふんだらうと思うが、しっかりと地元も公立中学校を信頼していただいて、進学できる、そういうことを理解していただく努力も必要だし、実績を積んでいかなければならない。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>先ほどの説明は、小学校から中学校に行くときに市教委から指導というか、そういうことについて、どういう風に対応を考えているか申し上げたが、中学校側については、地域の学校に行かずに、市外へ行くという原因が資料にあるように、一番多いのは部活動、家庭や人間関係がある。表には出てきていないが学力というのにも陰に隠れて必ずあると思っている。私が考えるのは、中学校教育の中で学力をきちっと身に着ける。もう1点は、一方では部活動を全力で取り組んで、良い成績を収められるように指導する。もう1点は問題のない学校を創りあげる。この3点に絞られるのではないかなと思う。中学校の校長会にお願いしたいことはその3点について全力で取り組んでほしい。そのためにも部活動がやはり少人数だとできない。部活動のために学校を変更しているという生徒も随分いる。そういうこと等についても、合併によって回復する、修正することともう1つは、たくさん的人数の中で、全力で勉強し、切磋琢磨することによって学力の向上を図る。そういう風な3点について利点を挙げて参りたいと、そういうことによって地元の中学校にいても部活もできるし、県大会にも行ける、全国大会にも行けるという風になる。または、行きたいと思ったところの高校に進学できるということ等は、小学校から地元の中学校へ入学する導きの契機になるのかなと思っている。私どもとしては、中学校・小学校と連携しながらそういう点に努めていきたいと思っている。</p>
<p>(委員)</p>	<p>やはり教育長からもあったが、いわゆる歯止めをかける、地元の中学校に来てもらうために、来てもらうというのはおかしいが、やはり、学力を上げるシステムを作ってもらうとか、統合中学校へ行ったら、簡単に言うと、よくできるようになる、また部活動も強く</p>

<p>(委員長)</p>	<p>なるなど、北中の場合は部活動で行く人も多いので、やはりきちっとしていただければ、外の中学校行かなくても、地元の学校へ行けば良いというようになるのではないかと思います。</p> <p>学校の統合による大規模校化のメリットの1つの中に部活動が容易にできる。部員が確保できるというのが1つあったかと思う。それから学力の面でも、やはりある程度の競争というのは必要で、お互いが切磋琢磨するという面でも学校の歯止めの効果というのは早めに考えていかなければならないと思う。よろしいか。それでは、前回提示を求められた資料について事務局の方から説明していただいた。今日は5番目の議題、学校再編計画後期計画の計画内容(中学校)の見直しに係る再編案の取りまとめに時間をかけたいと思っている。それについては、前回第2回の検討委員会の折に各委員に、再編についての案の提出を求めた。提出されたものを事務局の方でまとめていただいているので、これについて、まず、最初にご説明いただこうと思う。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>(事務局説明)</p>
<p>(委員長)</p>	<p>事務局の方から、各委員から提出された個々の再編案をポイントにしてまとめていただいている。全部で11の案が提出されたということである。これから少し時間をかけてこの検討委員会での再編案を絞り込んで、そして優先順位をつけたいと思う。</p>
<p>(委員)</p>	<p>そこで、来年から予算が希薄になるという話をさかいに、市長さんがおっしゃっていた。原案11案といっても絞り込んでほしい。合併10年が優遇処置だったわけで、合併11年目からは段階的に言えば減らされていく。その中から考えると、困った問題は耐震化をあちこちでやるというのは、無理なのではないか。先になって、校舎をいじったりするのは、予算がだんだんなくなり首を絞められるわけだから、耐震化をあちこちでするとするのはもう無理だと思う。予算的に。この11の提案があるが、それから考えると、また更に11案を減らせると思う。その考えを含んでいただいて選んでいただくと1つの筋道がはっきりしてくるのではないか。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>委員さんの方から、財政課題の方から絞り込めるのではないかと</p>

<p>(委員)</p>	<p>ということだった。事務局の方の資料では、将来予測、学校の適正規模の観点からの図表も出てきた。両方学校の適正規模を維持することと、逼迫する財政課題の問題等を兼ね合わせれば、11案をさらに絞り込めると思う。案を出された方にそれぞれの主張があると思う。いかがか。</p> <p>耐震化については、私は耐震化の案は出していないが、現実、生徒児童数が減ってきている。耐震化をして存続さすということは、現実的には津田中学校、志度東中学校の2校が対象になる。前回までの、耐震化にかかる費用は1校につき、さぬき市の負担として3千500万円ぐらい、まあ2校で、7千万ぐらいで耐震化ができるであろうとのことだが、それはそれで、できるのではないかと私自身は思っている。11月16日の業界の新聞で旧多和小学校の体育館を耐震化するという記事が出ていた。確かに多和小学校の体育館を耐震化したらいけないという話ではないが、何で、生徒のいる校舎、体育館を耐震化してくれないで、そっちを耐震化するのか。こういう風に思った。そんなこともあって、それならば耐震化してもらってもいいのではないか。生徒が毎日通っている。いつ地震が来るかわからない中で、心配しながら送り出しているのに、なぜこんなことをしてくれているのか。という思いはある。</p> <p>しかしながら、生徒児童数が減ってきている中で、どちらかといえば、やはり早くどこかと統合してほしいという気持ちの方が優先している。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>現実には、津田中学校にお子さんを通わせている、私側から、やはり一刻も早く耐震化してほしい。また地元の校区を守りたいという気持ちは、それは当然のお気持ちであると思う。</p>
<p>(委員)</p>	<p>これまで東中は耐震化をしてこなかった。不利な状況におかれていて、不利な状況におかれた上で、じゃあ統合しなさいというのはどうも不公平ではないか。と感じたので当面耐震化するというプランを出させていただいた。そして実際に文部科学省の方が、関与してその費用の6.7%東中の耐震化2千10万円ぐらいでできるのではないかという話も出ているので、2千10万円の投資をするかどうかかわからないが、十分お考えいただきたいと思う。先ほどのメリット・デメリットの資料でも小規模化のメリットは1つしか書いて</p>

	<p>ていないが、小さい学校のメリットはまだあると思うので、それを考えると、一概に大きな学校にする統合は良いかどうか分からない。しかし、こんなことがあるとわかると思う。やはり予算の限りもあるし、結果良いのかなと思っている。</p>
(委員長)	<p>財政逼迫していると言いながら、具体的な金額で本当にといえば、確かになかなか説明に納得できない部分もあろうかと思う。もう1つ少子化の問題があり、しかし、小規模校のメリットもしっかりとあるのではないか、当然校区を代表して来られた委員さんのご意見というか、誇りとしてはしっかりと受け止めなければならないと思う。</p>
(委員)	<p>まず、1つお伺いしたいのが第2案・第3案・第4案その3案で鴨部地区が、さぬき南中学校やまたは選択制であるいは、小田地区がそれぞれ関係のある地区の委員さんにそれはどうなのかということを知りたい。いわゆる鴨部地区が統合することについてどういう意見があるか。選択制になって南中学校の方へ行く人と志度中学校に行く人とどちらがどうなのかということを知りたい。</p>
(委員長)	<p>その前に、鴨部地区の扱いというか、どうしていくかというのはこれからの大きな焦点となるし、当然、その地区から来られている委員さんにはお聞きしたいと思うが、第1案・第2案から第4案までは、あれを選ぶかこれを選ぶかではなくて、ベースは同じだと思うので、このベースについてこの委員会として、ある程度この方向でこれから議論を進めていく。これから、実際に特定の地区の事も集中して審議していくためには、ある程度方向を持たせたら良いのかなと思う。具体的に申しますと、志度東中学校と志度中学校、津田中学校と新しく統合するさぬき南中学校。ここの統合が先ほど言った学校の適正規模と、それから財政問題等を両方ともクリアできる、唯一の案である。当然、それぞれの当該校区の人からすると納得できないことがあろうかと思う。しかし、私たちが検討してきた材料中で、この適正規模の問題も財政の問題も大きかった。これまでの議論の流れからすると、その2つをクリアできるのは今言った、2つの中学校の統合。これをベースにして通学距離等を考えて具体的には鴨部地区の名前も挙がっているが、この扱いをどうしていくのか。ということになるかと思う。これからその枠組みで検</p>

	<p>討していくということで、まずは、ご意見いただいて良いのかどうか。</p>
(委員)	<p>それを考えるにあたって、この11案の中から2・3つ選ぶにあたって、それが基本ベースになるので、今日は絶対こんなのはあり得ないというのがあれば、私もそういう風に考えるし、こういう意見もあればそれなりの挙げ方をしなければならないと思う。まず聞きたい。</p>
(委員)	<p>私は第1案だが、このまますんなりに行けば、平成25年度から動けるのか。そのあたりを聞いたら、耐震する必要はない。</p>
(委員長)	<p>統合の時期も議論しなければいけないと思っているが、これまでのいろいろなところで起こっている再編というのは、そんなスピード感ではいけない。</p>
(委員)	<p>先ほどから鴨部地区とっているが私も牟礼町から志度町に来て50年になるが、志度町になった時に鴨部地区は1年遅かったと聞いている。志度町は、鴨庄、小田、志度が合併してその1年か2年後に鴨部地区が入ったと聞いている。何か地理的に何かあるのではないのかと思っている。南中学校へ行くか志度中学校へ行くかのそのあたりが何かあるのではないかと思う。</p>
(委員長)	<p>前回の資料の中でも歴史的な経緯についてまとめていただいたものがある。</p>
(委員)	<p>鴨部地区の住人なので、あの、歴史的なことにこだわっている若い人はいないのではないかなと思う。鴨部地区も将来的にも中央小学校に行くことになるでしょうし、その子たちが私は、さぬき南を選ぶかどうかはわからないと思う。私のその感覚でいえばやっぱり一緒に志度中に行ってほしいと思う。調べていただかないとわからない。何で鴨部地区ばかり差別されているのかわからない。</p>
(委員長)	<p>差別するなんてことは絶対ないと思う。小学校は、中央小学校の方に向けて統合している。この子たちが中学校に上がる段階で別れる。それは、本当になぜ鴨部地区に生まれて、育ったがゆえにとい</p>

<p>(委員長)</p>	<p>うのは、だからこそご意見を、ここの方々のご意見を聞くというのは大事だと思う。</p> <p>鴨部地区のことを考える1つの材料として、今日作っていただいているデータの中で、赤と青で予想される通学校区を書いている地図（P11）であるが、その中に鴨部の中でも茂里と楠木それぞれが志度中学校に行った場合の距離と所要時間、1km4分で自転車を走らせた場合、それが④⑤で、今度は⑥⑦のさぬき南中学校、南の方へ自転車を走らせていったときの距離と所要時間が書いてある。これは通学のことだけ考えたら、志度に向かうよりは南に向かった方が（あくまでもデータである。）合理的だということになる。</p> <p>ただ、実際には、今から鴨部小学校は中央小学校に統合するわけで、一回そちらに行って鴨庄・小田地区の子どもたちと一緒にしながら、また、中学校の段階で別れてしまう。両方クリアできるものとして、1つ案として出ているのが、鴨部地区の自由選択案がある。整理すると、中学校区・小学校区の接続を重視して鴨部地区も志度中学校に通うというのも1つの考え方。それから、いや、通学の便を考えたら南に向かってさぬき南にというのも1つの考え方。あるいは例えば、鴨部地区のどこかに線を引いて志度と南というのもある。先ほど11号線を通ってきたが、鴨部地区を通るときにこっち側の子達とこっち側の子達とでは絶対に…と思いながら通ってきた。鴨部地区の中で線を引くのもあるかもしれないし、それはそもそも、選んでもらったら良いのではないか。通学距離が遠くても志度中に通学する子は通学する。</p>
<p>(副委員長)</p>	<p>本当は選択制にしてもらった方が良いのではないか。あくまでも分けてあげてもね。私はこう思う。（茂里から志度中）7.9kmと（茂里からさぬき南中）4.4kmでしょ。おおかた倍近くなる。それは当然選択制にしてあげたほうが良いのではと思う。志度中に通学したい人は志度中に通学すれば良い。</p>
<p>(委員)</p>	<p>鴨部地区が全部南中行くというのは…最低限選択制の方が。</p>
<p>(副委員長)</p>	<p>選択制というのは無難。それと親からという面もある。</p>
<p>(委員)</p>	<p>ふたを開けてみないとわからない。</p>

(委員)	善通寺市では、東中と一緒に選択制になっていて、話を聞いたら、やはり基本的に近いほうに行っている。
(副委員長)	特に例えばクラブ活動であっちが良いと判断すれば当然通学するだろう。
(委員)	通学手段は、全部自転車なら大変かもわからないが、バスが出るのであればまた別の選択肢がある。
(委員)	峠はないが、南に向かっていくのは暗い。台風の時に心配だと思う。
(委員)	街灯が少ない。
(委員長)	当然これからソフト面、安全面で。
(委員)	鴨部地区の話ではないが、第1案津田中とさぬき南中、志度東中と志度中の統合についてのデメリットはほとんどが通学の関係である。まだ決まっていないが、決まってから整備するというのは、例えば、柴谷トンネルを通るといのは難しい話なので、早めに通学路の整備もしてほしいなという気持ちがある。
(委員長)	第1案から第4案までは基本的にはベースが同じである。その中で、だからこそ優先順位をつける。これをベースに、この後、柴谷トンネルの話も出てきたけれど、いろいろな問題を話し合う。そのうえで優先順位を最終的に今日中につけていくという方向でよろしいか。第4案以降の案からは是非というものもある。
(委員)	自転車で通学するのか。鴨部の方、小田の方はそれがわからない。それは無理かもしれない。バスでというお話はないのか。
(委員)	さぬき南中学校の統合の方に入らせていただいているが、その時に、市の方の事務局の方から話が出たのは、6km以上に関しては通学バスを出すという話があるので適用されないのか。南中学校でもルートをある程度絞り込んで、時間的な配分を取るような感じで、検討していただいているので、そういう風に統合がこちらでも決まれ

	ばそういう話の展開はあり得ると思う。
(委員)	バスはやっぱり走らせることはだめなのか。
(事務局)	学校再編計画の方で実距離が6 km以上はバスで通学支援は決まっている。
(副委員長)	コンパスではなくて実際の実距離。今の柴谷の場合は、警察との兼ね合いもあるが、通学時間は大型車がたくさん通るので無理である。
(事務局)	P 1 1 の例えば柴谷を通ったらということで距離を示している。柴谷トンネルは狭くて交通量もそれなりにあるので、津田町の生徒がさぬき南中学校へ何百人となるとかなり危険となるので逆に通学路に指定せずに、春日温泉から津田川の土手を走るこちらを通学路に指定した場合、6 kmで具体的に統合が決まれば。
(副委員長)	津田川線を通らないといけない。
(事務局)	先日、実際に車を走らせて距離を測ってみたところ、津田川の土手を通るとコンビニ(サンクス)のところで6.2 kmあったので、津田中心部の方も、鶴羽の方もほとんどバスでの通学支援になる。
(副委員)	6.2 kmもあるのか。
(委員長)	自転車・歩行者の通路がない。
(副委員長)	駐輪場を作らなければならない。
(委員長)	部活の帰りで、危ないなと思うことがある。
(副委員長)	津田近辺の人は土手で良いけど鶴羽の人は大変。出るまでが結構(距離)ある。
(委員長)	津田中学校については、志度東との前期計画の中では、新設での統合中学校とあったが、こうやって見直しになってしまった。単独

	<p>での耐震について今それをやっても、少子化で適正規模が維持できない。方向としては、さぬき南中学校との統合に向かっている。その時に1つ心配なのが通学の問題だと思う。それから言えば先に天王中学校と大川第一中学校が統合した後で遅れての統合なので新参者としての（統合）になってしまう。中学生ってね、どうせなら一緒に…。</p>
(委員)	<p>保護者として気になることがあって、来年から通学が開始される。私は子どもが5年生なので、一年遅れて入るので混乱が落ち着いてからという安心感を持っていたので、今回この会に参加することになって津田中と、統合という話が出てきたので、統合時期というのは、これからの検討内容だと思うが、正直、統合して最初の年の受験生の親御さんとかは、すごく不安感を持っている。入学する今の6年生の親御さんに関してもときどき私も聞かれる。どんな感じか。落ち着いていけそうか。そういう風な部分が選択する材料の中に入ってしまった。統合することによって、保護者周りからは。統合時期というのも3・4年になると、落ち着いた頃にまた大変な時期がやってきて、先生も大変になってくる。それだけ繋がっていく部分ではあるが、その、もう少し早急に来年から統合するという思いはないが、そこは考えていただきたい部分が保護者の立場からは思う。経済的な状態・問題で、長引かせたら耐震の部分で、中学校の保護者の地震の部分も考えないといけないというのがあるので、統合するのであれば早い段階がベストであると思うが、この時期に来年からというのは難しいと思うので、少し保護者の気持的にいろいろあることだけは、お見知りおきいただいたらと。</p>
(副委員長)	<p>私は、難しくないと思う。というのは、保護者の方がそういうのを心配しすぎる。1つは津田の中学校は3つが一緒になっていた。昔はいい加減な年齢の人は知っていると思うが、3区の運動会を鴨部小学校でしていた。それだけだった。交流は。</p>
(委員)	<p>私も大きい中学校で育った。4つの小学校が1つの中学校に上がっていく。子ども同士とか、保護者間同士はあまり心配していない。中学校に津田中学校さんの子どもたちが入っても、結局は子どもがうまいこといったら良いのであって。ただ教育現場の方の先生の状態が統合するにあたって先生との面会、また中学校のシステムを作</p>

<p>(副委員長)</p>	<p>り上げていくのに時間がかかる。そこがすごく心配する。実際受験は待ってくれない。3年生の時に、それがすごく心配。</p>
<p>(委員)</p>	<p>そうやな。それはある。</p> <p>受験がなかったら安心してみんな地元の中学校で、長い間の地元の交流の場でもあるので、すごくあると思う。その部分を3年たって先生側が落ち着いて、学校の、その南中学校の軸が出来上がったから子どもたちがどう入れ変わろうとかまわれないと思うが、そこまで過敏にならなくても良いかなと思う部分はあるが、3年後とかまだ早い段階でまだ3年できっちりできるとは正直思わない部分があるので、難しい部分が多少あると思う。3年で統合するという短いスパンでというのは、保護者としてすごく私もちょっと不安には感じる。</p>
<p>(委員)</p>	<p>ちなみに、津田小学校と鶴羽小学校が統合した時に平成22年に統合したが、統合して初めての会長をさせていただいて、やはり、夏ごろまでは、4月から8月までは、少しじっくりこない、やはり緊張してという部分があったと思う。夏過ぎたころから、スポ少などで、交流していることなどもあり、両校の交流授業をしていた関係もあり、比較的スムーズに統合できたのではないかと思う。ただ、それは小学生の話であり、今度は中学生だから少し事情が違ってくると思われる。</p>
<p>(副委員長)</p>	<p>受験の問題があるから。</p>
<p>(委員)</p>	<p>統合時期の部分を少し配慮していただければ、保護者としてはありがたい。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>確かに、統合時の混乱というのはある。先生方も戸惑うだろうし、それぞれの学校文化の1つになるわけであるから、大変である。たまたま、そのタイミングで受験を迎えられるそのお子様を通わせている親御さんの不安というのは本当に大きいと思う。今、聞かせていただいて、教育委員会の方も聞かせていただいて、しかとそれに対する手当てをしていく覚悟を持って取り組んでいくということがすごく具体的なことになろうかと思う。場合によっては、統合加</p>

<p>(教育長)</p>	<p>配ぐらい考えた方が、良いのではないかと思います。</p> <p>統合という見方は2つあると思う。1つは経営者側。学校組織側。1つは生徒の方から見た。ご案内のとおり、複数の小学校から中学校に入るので、生徒自身の交流、仲良くなるというのは、先ほどおっしゃったように、1学期間ぐらいでほぼ出来上がるのではないかなと思う。学校の組織についても、教員は、3年から5年・6年のスパンで学校を代っていく。だからいろいろな学校を経験しているので、学校・学校によって、組織とか文化、ニュアンスが違ふところも経験しているので、そういうことについては、早く慣れるし統合できるのではないかなと思う。大川第一中学校と天王中学校の統合というのは、もう2年前からわかっているので、その統合に向けて職員間で、生徒指導の組織であるとか、教務の組織であるとか、いろいろな組織関係については、事前の打ち合わせ、並びにこういうことはこうしようという、細部に至るまで今検討して、その4月1日でもって全開でスタートできるように、私が一番心配なのは3年生である。だから、4月1日から受験に向けて、全力で学校側が運営できるようにお願いしたいと、それは合意している。ご心配されるのは当然だと思う。学校側の方からすると、そういうことについては遺漏のないように万全をきして、準備を進めている。それが今のさぬき南中学校（開校）に向かっている準備段階の説明を指していただいた。よろしくお願いします。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>第1案をベースに考える。それに鴨部地区の問題が、それは通学の問題でもあった。統合の時期というのは1つのポイントになってくる。事務局の方で統合の時期について、もしこの1案をベースにということであれば、これから地元への説得がまずある。いろいろなところで行われている再編を見ていると、こういう議論、再編委員会を始めてから実際統合に至るまで何か年かかってくるが、どう見通しを持っているか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>地域なり、保護者なりへの、説明して理解をいただくのに2年は必要になる。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>平成27年の4月。</p>

(事務局)	いや、26年の4月。
(委員長)	26年の4月が最短か。
(事務局)	最短。平成25年は…もう11月であるし。
(委員長)	平成25年というのはちょっとできない。平成26年4月も難しい。
(副委員長)	この前の小学校も経験しているので、うまいこといく。
(委員長)	意外とみなさん、統合に難色を示す該当校の立場の方は、怒って退席されるとか。というのが多いが。皆さんいろいろな経験が。
(副委員長)	早めに今日の時点で方向性がある程度決まったら、最近の問題もあるから。
(委員)	中学校の役員会で意見を聞いて、この前、小学校の方も意見を聞いたが、役員だけの意見だが、統合することに反対はない。(統合するのであれば)むしろ早くしてもらった方が良い。という意見の方が多い。中学校の場合は、今耐震も何もしていない状況であるから、耐震もしてくれないので、とにかく早くしてほしい。ある程度方向性が決まれば、PTAの会員の方にも話をしていかななくてはならない時期が来る。津田小、鶴羽小みたいに急にとなると大問題になる。
(委員長)	津田小学校のPTA役員の感触をお聞かせいただければ。
(委員)	1週間ぐらい前に津田小学校の役員さんと事務局の方で意見交換会を2時間ぐらいさしていただいた。私の個人的な意見ではなくてPTAの15人ぐらいの役員が集まった。役員の感覚では、統合するのであれば早くしてほしいというのが。全員が全員というわけではないが、そういう意見が多かったのは確かである。ただ来年からというのは無理だと思うし、以前のように急にやはり「(統合が)決まりました」というのが小学校みたいに出たらいけないと思うので、

	<p>この検討委員会が終了すれば、次に準備委員会が立ち上がる。立ち上がる前に「それに向けて立ち上がります」と書面だとか事務局の方が中学校・小学校に来ていただいてお話をさせていただく。段階を踏んで徐々にしていただければ、子どもも2年ぐらい27年4月を目指してならば、可能ではないか。津田の保護者の方は子どもも東中へ行くということを4・5年生の時に聞いている話をちらほら聞くので、保護者の意識はそんなに抵抗はない。段階の踏み方によっては津田小学校と、鶴羽小学校の時のように理解をもらえないようなところも出てくるようでは、やはりどうかと思うので、段取り良くしていただければ。</p>
(委員長)	<p>しっかりと情報を、小出しというか、その時点その時点での情報を発信する必要がある。</p>
(委員)	<p>案がたくさん出ているが、流れ的には1案から4案の方向でという話になっているのか。私は個人的に1案から4案は出していない。違う案を出しているのです。</p>
(委員長)	<p>是非。この後、そっちに流れていく前に。</p>
(委員)	<p>意見が2つあるが、役員の意見としては、統合するのが多かった。ほかの意見としては、個人的には津田中を耐震化して残したい。やはり地元から中学校がなくなるということになれば、地元の中学校の方と、老人会の方だとか、地域の方と交流がなくなるし、中学校からこの津田町に転入してくる確率もなくなる。将来的に50年先には、津田はどんどん過疎化していく。中学校でいうと長尾などが栄えてくる。個人的には地域の方に、津田川を渡っていかないと「中学校で〇〇大会しますので来てください」といってもわざわざさぬき南中学校までいかないといけない。地域と交流など、いろいろなことを、10年50年100年先のことを考えれば残したい。本当であればこんなところで話す話ではないけれども人口を増やしたい。さぬき市の人口を増やしたい。香川県の人口を増やしたい。やはり、小さい町でも、徳島の町でも人口が増えているところはいっぱいあるし、大きいところからはしていきたいが、そこまではこの話ではできるところではないので、今の統合の一件として、今の子どもたちの現状、5年10年ぐらいのスパンで検討させていただ</p>

	<p>いている。個人的には津田中学校単独で（存続させたい）。皆さんはこういう議論は多数決で決めるのか、何で決めるのかわからないが、皆さんが多数決で決まったのであれば、それが円滑に行くように私は全力で取り組みたいと思う。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>私ももし、自分の母校が津田中学校だったら、あるいは、自分の子どもが今津田中学校に、あるいはこれから津田中学校に上がる子どもをもっていたら当然そうだと思う。そういう気持ちを少子化だからといってすぐに切り捨てようとは全然思っていない。これからどういう方向に向かってくのかは、予想がついているが、しっかりそれを受け止めて苦渋の選択としてこっちにするんだということ。</p>
<p>(副委員長)</p>	<p>残したいというのは本音。</p>
<p>(委員)</p>	<p>何を優先するか。子ども達のことを本当に思ってやるのか。地域の事を思ってやるのか。何を思ってやるのか。どれを優先していくのかという話。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>いくらお金がかかっても守りたい価値があれば、そっちで行けば良い。総合的に考えている、いろいろな問題比率を考えて、あれ、これしかないかなと言っているけれど、何がなんでもというなら…。</p>
<p>(委員)</p>	<p>東中の役員会での協議だと、むしろ単独存続という意見が多い。東中もそのままが良いのではないか、小さいけれどまとまっているし、すごくそのままで行きたい。耐震化してほしい。という意見が強い。東中の場合は津田中より難航するかもしれない。ほとんどの方は自分の子どもが東中にいる間は合併してほしい。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>大変、本当に苦渋の思いをしていただきながら、これからしかし検討委員会で取りまとめる方向に向かっていかなければならない。第1案をベースに2案3案4案、2案から4案は1案と対立のものではない。言ってみれば、1案のバリエーションだと考えていいと思う。もっとも、すっきりするのは、1案だが、先ほども言ったように、特に鴨部地区に焦点化されるような問題もある。そのところにいくつかのバリエーションにどういう優先順位をつけていくのかという議論に向かっていこうかと思っている。よろしいか。それで</p>

	<p>は、もう一度整理すると、津田中学校と新しいさぬき南中学校の統合をベースとする。それから、東中学校については鴨部地区のことは少し置くけれど、基本的には大きな枠組みとしては志度中学校。ただし、先ほどから出ている、鴨部あるいは小田地区の問題もあるが、ここをどうするのか。1案をベースにバリエーションという方向でどのように優先順位を付けるのか。という形でこれから議論していこうと思う。どうぞ自由に。</p>
(委員)	<p>私は、7案を出させてもらった。7案というのは、1案から4案の中に私は含まれているように書かしていただいた。というのは、津田中学校の保護者の意見としては体制が統合に向いているから、時期的には早いだらう。という見通しが皆さんお持ちだと思うが、東中学校については、保護者の皆さんでやはりその残したいというご意見がある。私が思うに、志度中学校に来ることを考えると、どうしても低い峠にしろ、小方峠にしろ、天野峠にしろ、峠を越えなければならない。小方峠は少し良くなっているが、自転車通学で通うにはやはり、危険箇所がいくらでもある。そのことが解消されないことには、保護者の皆さんが「行ってもいいですよ。」というのには時間がかかるような気がする。またこんなこと言うといけないのだが、統合を進めるにあたって志度幼稚園の時に、道を作るので非常に便利がいいところになるという話で進めさせていただいた部分がある。今回の統合についても「あそこの道を良くしますから、ぜひお願いします。」ということだけで進めるのではなくて、「ここまでよくしました。これからこういう計画できちんとしますので、安全面は大丈夫ですよ。」と担保していただかないといけないと思う。確保できる間、東中学校を耐震して子どもを守りながら統合を進める。</p>
(委員長)	<p>私から言うのもあれですけど、適正規模かというのがあったと思う。現に一部、部活の事で…。</p>
(委員)	<p>適正規模にしないというのではない。そのするための手順として時間がかかるから、その前に安全面をしてほしい。安全面をするには、子どもが通う安全面もそうだが、時間がかかるのであれば耐震化も必要である。保護者の方も納得しない。</p>

(委員)	統合の件はそちらの件で検討できるかもわからないので、今の委員の意見は参考になった。
(委員)	どんなに早くても27年というのなら耐震しなければいけない。中央小学校が来年か26年。
(事務局)	中央小学校は26年度。
(委員)	それは津田も一緒に。東中も耐震化とっていったら津田も同じように耐震化して存続するのと一緒な考えになってしまう。津田は津田へ柔軟な考えで南中に行こうと、言っているので東中も柔軟な考えに持っていけないといけない。
(委員長)	片一方が耐震化と言ったら、もう片一方も話は元に戻る…。
(委員)	志度は志度なりの柔軟な考えを持って歩み寄らなければ、こっちが耐震でこっちが耐震でなく統合というのは、津田にしたって残したいのと一緒に、それはそういう考えでないか。
(委員)	小方の細い道路を子どもたちが、朝の短い時間にセシールに来る車がある、子どもたちは逆にその道を自転車で志度に向かうということを考えれば、それは通学路を考えなさいということかもしれない。現実として、今もそうだが、子どもたちが中央小学校の子どもたちがサッカーをするために志度中学校に来ている。その道を通っている。その何十倍という子どもたちが、朝は西へ向いて、夕方は東へ向いて、車と交差する。
(委員)	そこは通学路か。
(委員)	そこしかない。
(委員)	通学支援の対象地区ではないのか。
(委員)	いわゆる志度やから。
(委員)	中央小学校の子どもたち、全員はならないと思う。

(委員)	6 km以上じゃないとバスが走らないというのではなしに、危険箇所があるのであれば、距離関係なしに。
(委員)	柔軟に考えて子どもたちの安全を確保したうえで保護者に説明したうえで。
(委員長)	当然、この後、私たちの案が出て、今度準備委員会等を説明するときもこういう意見は出るのか。
(委員)	自転車で通うメリットというのはあるのか。
(委員)	小学校だったら徒歩で通学365日とは言わないが、登下校で体力がついているということがあって、歩いたらどうか。などがあるが、中学校の場合は、自転車でも結構体力が付く。
(教育長)	これは私の経験なのだが、丹生小学校は丹生北山と合併したことがある。丹生地区で運動会するとき丹生北山の子は走るのがすごく早かった。丹生北山から丹生まで歩いてきていたので。すごかった。ところが合併してバスをフルで(使用する)、そうなってきたら途端にその年はいいが、その次の年から、パタッと結局歩かない。集合場所に2・3百メートル向こうまで行って、バスに乗って学校の校門まで来るから、急に歩かなくなった。その時に教員の中で「やっぱり歩くのは大事だ」という話が出ていた。そういうことを考えると、車社会の弊害ということで、自転車で太ももの筋肉が身につくかなという気はする。
(委員長)	私は4 kmこげばいいと思うが、問題は危険な道かということでこれはもちろん車道の線なんかも、もっとお金が掛かる。大変だが、子どもたちに係ることではない。こういう懸念や心配にしっかり答えられるように対策も同時に練っていかなければ。
(委員)	バスの話が出ているが、土日の部活動の時にも、出るのか。 たぶん私は、バスは無理だと思う。朝平日は、行きは大丈夫だが、帰りは部活動によって時間は違うし、1年生と2年生でも終わる時間は違う。2年生が終わっても1年生が30分片づけやサッカーでもボールがなくなったら1時間でも探してからという話になった

	ら、バスが5台10台あっても、5分、10分、20分間でピストン運行しないとかなり難しいと思う。土日で部活動でも何部の何年生か、30分後に2年生か、またこっち行ってなど。
(委員長)	またその終わりの時間がバスの時間に合わせて終わるように、顧問が付くので、現実いろいろなことでそれぞれの練習予定があって、スケジュールがあって難しいと思う。
(委員)	津田中学校レベルで部活動が少なければ、また調整しやすい。極端に多くなるので。
(委員)	多和から長中に来ている人は、どうなるのか。
(事務局)	土日は基本的に動いてない。個人個人で対応してもらっている。
(委員)	部活動の時でないということ。平日の運転は確保しているけど土日はご自由にしてくださいということ。
(副委員長)	土日はまずない。それにコミュニティバスが動かない。まだ、コミュニティバスが動いていれば時間をずらしてもらおうなど、結局動いていないから。
(委員)	中学校のバスというのは、基本的におうちの人はできないと思う。バスがないと考えて検討していかないといけない。
(副委員長)	特に土日。
(委員)	場面によっても帰る時間が。テスト期間や何か。
(委員長)	本当に子どもの通学の問題は、大きいなと思う。統合を考えるにあたって。意見を聞いていてよくわかるし、これから事務局の方もお金が絡んでくることなので、この後、条件闘争的な部分が出てきたときに、どこまでできれば、バスを走らせるにしてもできるのかというのは、やっぱり納得していただくためにも、大きなポイントなのかなと思う。それでは、柱としても、いったん平になって、すぐにはなかなか進まないが、特に志度東中学校校区、津田もそうだが、通学の問題も抱えているし、住民感情もある。今すぐという

	<p>耐震の不安というのもある中で、しかし、総合的に考えて第1案をベースにした方向で、あとそこに第2案、第3案、第4案のメリット・デメリットを考えながら、このあと優先順位をつけていきたいと考える。特に鴨部地区について、自由校区とそれから鴨部地区の中に新たにさらに線を引く、鴨部地区は南に向かうというの、いろいろな考えがある。</p>
(委員)	<p>バスを走らすという風になれば、条件は変わってくると思う。6kmにこだわると問題が出てくる。6kmにこだわらずにバスを走らせてくれば、かなり柔軟な対応ができると思う。</p>
(委員長)	<p>あの事務局の方では鴨部地区の中の茂里はどちらに向かって自転車を扱ぐと予測しているのか。バスについては今、頭の中にあるのか。</p>
(委員)	<p>中央小学校の場合も、バスが出るということがあって、もともと中央小学校に行っている大串、小串辺の人も距離からしたらバスに乗るかという話になった。それで、中央小学校の子ども会単位で話をしたら、やっぱり体を鍛えるために、「爺ちゃんも婆ちゃんもここから行っているので歩きます。」という子どもの意見が通った。教育長が言っているように、私も牟礼中なのだが、八栗山の上から来ていた人はみんな足が速い。それから次は、水泳になったら、海岸に（住んで）いる人が水泳の選手で、学校にプールができて、これが反対になった。海で泳がしてくれなくなった。やはり、子どものときに鍛えていれば、体はできてくるのではないかなと思う。事故などにあつたらいけないが、そういうところは、「気を付けて行けよ」という保護者の意見で体を鍛える方法もある。</p>
(委員長)	<p>今しかし、あまり親が送り迎えするのも…歩かなくなる。</p>
(委員)	<p>子どもが少ないから、遊びに行くのも、全部送り迎えしている。なまってくる。</p>
(委員長)	<p>最近の調査によると、東京の子が一番歩く。地下鉄に階段の上がる、降りるときのあの階段は…。</p>

(委員)	コミュニティバスはそういう時は利用することできるのか。時間帯など。
(教育長)	コミュニティバスは、朝7時ぐらいからあるのではないか。
(委員)	それは登下校、おろしたりできれば良いんだけど。
(委員)	土日の時に、部活の時に利用できるような仕組みがあれば良いとふと思った。
(副委員長)	バスは、今年度で4千数百万になる。学校の方でいくらか出すようにして、コミュニティバスをもう少し高くしたらよい。
(委員)	こっちは義務教育。
(委員長)	もともとコミュニティバスはお年寄りが乗るものなのか。お年寄り限定なのか。
(副委員長)	そんなことはない。乗ることは乗る。しかしさっきの土日の問題とかがある。変更はできる。私もその方の委員していたので。
(委員)	バスが、3千万4千万しようと耐用年数が長い。30年前のもあるのではないか。
(委員)	文理大の生徒も志度駅からもよく乗っている。
(委員長)	バスが走るのか、どうかそういう条件によっても、変わってくるので、どちらに向かって子どもが学校行くかというので変わってくる、例えば、鴨部地区をバスという条件がわからないことを含めて、鴨部地区を自由校区にするのを、第1候補案とするのが1つ。それが住民意識という点では若干違う方向に向かうというのはあると思う。
(委員)	鴨部地区に聞いてみないと。
(委員長)	優先順位をつけて提案する。というのもありかなと思う。優先順

	<p>位同一で自由校区とする。あるいは鴨部地区はやはり志度。小中の接続を考えたら（志度）中学校校区にする。あるいはどこかの線でさぬき南中学校。そういう議論、そういう案が検討委員会に出ているというのを、優先順位を付けずにご提示して、議論を聞きながらさらに…。</p>
(副委員長)	<p>自由にしていたらどっちにも行けるし、その方がと思う。かえって線を引くよりは。</p>
(委員長)	<p>ここからバスを走らせるかどうかについてのはっきりした答えは出て来ない。</p>
(委員)	<p>やはり、子どもと保護者との関係で自由校区というのが一番いいと思う。例えば、北中へ行っている子ども、小田の境界線から行っている子どもは男の子で自転車で3人で行っている。それも保護者と子どもとのことで行っている。</p>
(委員長)	<p>今、この第1案は最もシンプルなものであり、鴨部地区も含めてその志度東中学校の校区の子どもたちがそのまま志度東中学校へ行く。それが第1案になる。第2案・第3案・第4案は、第4案は小田地区も入っているが、要は、鴨部地区の校区は、3案は選択制、2案は鴨部地区はさぬき南中学校、鴨庄と小田は志度中学校、現在の志度東中学校の校区の中の3つの小学校区がわかれる形。1案と2案と3案を優先順位つけずに、今日のところはこの3つの案を今後検討していく。</p>
(委員)	<p>バス通学の問題をもう少し詳しくしてもらった方が良い。この時期に女の子が遅い時間に帰るにしても。</p>
(委員長)	<p>そのコミュニティバスの活用も含めて、そのこの地区のバス通学というのは、現実的に検討できるのかどうか。</p>
(事務局)	<p>土日の部活動か。それも方法を調べて、学校の協力があると、部活の終わる時間を合わすということをして、バスに乗れるようにしていただくのであれば、今はさぬき市マイクロバス。以前は、多和は大川バスに委託しており、バス会社に委託する方が、バスの乗車定員も多いので、このようなことも視野に入れながら、今後土日の</p>

<p>(副委員長)</p>	<p>運行も含めて検討してまいりたい。あと通学支援の距離は6 kmと再編計画で定めているので、これは協議においての今後の課題。</p> <p>課題である。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>今、部活の終わる時間はバラバラで、バス何時だと言ったらそれに合わせる組織を作ることができる。私も実際この3月まで中学校にいたのだが、それに合わせて子どもたちが部活の片づけをする。今公立の中学校であると、やはり自転車通学であるから、それぞれの部活単位でいろいろな目標で（終わる時間が）変わってくる。いかがか。1案から11案までであるが、基本は1案から4案までの津田中学校とさぬき南中学校、志度東中学校と志度中学校の統合をベースとしたものを、これから議論を取りまとめるよう進めて、第4回の検討委員会に、特に志度東中学校の校区である、鴨部地区の子どもたちがどういう風になるのか。これについては、もう少し議論を計画していきたい。バス等について、もう少し判断材料が、ご提示できるのであれば、事務局の方で次の検討委員会までにご用意いただければと思う。ただ、これは教育委員会でバスに係ることかと思う。議題の(5)のところについては現時点での取りまとめとさせていただきます。もう1つ統合時期については、少し継続していきたいと思う。平成27年度あたりになるのではないかという話もあった。それでは、次の(6)に進んでいきたいと思う。後期期間の計画内容に係る幼稚園・小学校の計画内容について、事務局の方から、まず、説明をお願いします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>(事務局説明)</p>
<p>(委員長)</p>	<p>1つ確認したいのが、小学校の場合は、耐震化は現時点で進んでいるのか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>できていないのは、前山小学校のみ。石田小学校、神前小学校、造田小学校については、耐震化を終えている。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>適正規模という点では課題は残っているが、耐震については現時点では問題はクリアしている。少子化は、私たちが思っているより進行している。この5年間経過した今の時点でいろいろと議論して</p>

	<p>いかなくてもならないが、子どもたちの耐震かつ安全面に緩和したい。いかがか。検討委員会では中学校を中心に見直しているが、小学校幼稚園については、現計画を認めていく方向で…。</p>
(委員)	<p>学校再編であるから、中学校だけと限定するのはおかしい。だからやはり、いろいろ話した方がいいと私は思う。</p>
(委員長)	<p>第1回目の会議の時には、中学校に特に焦点を当てようと、いうことできている。中学校は耐震化の問題と少子化の問題、ダブルで来ている。ただ、小学校幼稚園を全く視野から外している訳でもない。</p>
(委員)	<p>先ほども言いましたが、津田小学校が平成22年4月から鶴羽小学校と統合して、1.2年生が1クラスごとになった。今度1年から6年まで全部1クラスになる可能性もあるかもわからない。(1クラスに)なった時に、なんで統合したのかなという思いがしてくる。かといって、じゃあ、他のところと、また統合ということはあるのか。津田と鶴羽の小学校とだけでは、ないかもしれないが小規模化、大規模化のメリット・デメリットとして出しているが、今現実に1クラスしかない児童に対してどういう教育ができるかという心配は出てくる。</p>
(委員長)	<p>1クラスだとクラス替えがなくなる。子ども達もまれる機会は少なくなる。学校はそれなりに工夫されていると思う。例えば、縦割り班、ペア学年だとか、異年齢の子どもたちの混じり合い、縦割りの班替えは毎年できるから、そのような形で、子どもたちの社会性を培う工夫はされていると思う。ただ、本当に少子化の問題で、私たちの予想を上回っていると聞く。</p>
(委員)	<p>統合したのにまた、統合しなければいけない。今回中学校の問題。</p>
(委員長)	<p>10年ぐらいの計画である。私たちのデータも平成35年までのデータであり、だいたい10年。しかし、賞味期限はあくまでも10年で、また10年たったら適正規模だとか、場合によっては、新しい耐震基準になる可能性もある。今の震度内に耐えるというのは、新しい検討委員会に集まって議論しなければいけない。ただ、私た</p>

<p>(委員)</p>	<p>ちは、おかれた今の判断材料の条件の中で、中学校を何とかしなければならぬ。議論している。幼稚園・小学校が、全く視野から外れている訳ではないが、少子化の問題は。</p> <p>全体的な少子化に向かっている原因は、人口が長い期間増加していない。統合と云ったら保護者だけでなく地域も巻き込むし、いろんな人の意見もあるし。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>それはこの検討委員会の皆さんの願いだとある。何でこんなことになったのかといえば、さぬき市の人口が減るのに歯止めがかからない。特に若年者の人口が増えない。それはこの検討委員会の域を超えているけれどもこの検討委員会が、しっかりと提言できる。外へ向かって発信できるということがポイントになるかと思う。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>事務局から皆さんご意見いただきたいと思う。先ほどご説明した、再編計画作成から5年経過しようとしている。その中で当時小学校の再編については、特に後期計画の中身については児童の推移を見ながら検討していくとなっている。幼稚園についてもそのようなことを踏まえて園児数を見ながら考えていくということで方向性は定めている。しかし、いつの時期になるのか。前期計画が終了した時点で何年というのは、確かに、定めていない。今後1つの形として、5か年の間である一定のところまで各それぞれの保護者、地域になるかわからないが、その計画について意見をお伺いするという形で統合時期について検討していく。ということについて皆さんのご意見をお伺いしたい。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>結局耐震の問題はなくなったので、先送りになっている部分もあるが、少子化は相変わらず進行している訳であるから、しっかりと地元の方々に説明し、提案し、課題が残っていることを見つけていくことは大事なことだと思う。</p>
<p>(委員)</p>	<p>統合に関して、議会の方で話題が出ていると思う。参考までにどんな話されているか教えていただきたい。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>議会の方はどういう方向に進むんだということで質問がある。私どもとしては、いわゆる平成20年に作った再編計画の計画に基づ</p>

	<p>いて行うが、前期が終わった段階で、また検討することに基づいて再編計画の見直し検討委員会を設置して、その中で十分に委員さん方の検討していただいですすめていく。という風に申し上げている。具体的にはお話していない。</p>
(委員長)	<p>議事は(1)～(6)の方までであった。一通り最後まで行ったと思う。次は次第の5の次回の会議日程について、事務局の方からご説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>予定として、平成25年1月21、22、23、28、29、30、31のあたりを考えている。挙手をお願いします。</p>
(委員長)	<p>一応29日になるかもわからないが、決めてご案内する。閉会にあたって副委員長にご挨拶をお願いします。</p>
(副委員長)	<p>(副委員長あいさつ)</p>
(閉会)	<p>～～～15:45 閉会～～～</p>